



重大事故に備えて原子力防災訓練を実施

長崎県原子力防災訓練

長崎県原子力防災訓練が9月3日・4日、本市を含む県北部地域を中心に実施されました。

この訓練は、九州電力玄海原子力発電所の事故を想定し、緊急時における通信連絡体制の確立や緊急時モニタリング活動など、災害対策の習熟と防災関係機関相互における協力体制の強化を図るとともに、住民の原子力防災に対する理解を促進するため毎年実施されています。今年度は、国の玄海地域における原子力総合防災訓練と併せて実施され、国と長崎、佐賀、福岡の3県、県内4市（松浦市、佐世保市、平戸市、壱岐市）合同で行われました。

住民避難では、1日目は、黒島地区住民約20人が黒島住民センターへの屋内退避訓練に、松浦市高齢者生活福祉センターからは佐世保市内の福祉施設への避難訓練に参加されました。2日目は、鷹島、福島地区および離島（青島、飛島、黒島）の住民約100人が、波佐見町の避難所へ避難し、原子力災害医療訓練に参加されました。

また、星鹿町の特別養護老人ホーム海光園からは、入所者の避難を想定し、川棚町の特別養護老人ホームに避難する訓練に参加されました。

緊急時の情報伝達や避難手順などを確認し、その結果を受けてさらに改善が図られることになります。



九州各県の選手たちと交流

ねんりんピック長崎2016 記念バウンドテニス親善交流大会 in まつうら

ねんりんピック長崎2016 記念バウンドテニス親善交流大会 in まつうらが8月27日、松浦市文化会館で開催されました。

この大会は、昨年10月に、ねんりんピック長崎2016バウンドテニス交流大会が松浦市で開催されたことを記念し、松浦市バウンドテニス協会が主催したものです。

この日、九州各県のバウンドテニス愛好者が集い、BTラリー戦および団体ダブルス戦が行われました。BTラリー戦では、「松浦水軍A」チームが127回で見事優勝しました。このスコアは、現在日本バウンドテニス協会がホームページで公表している全国上位20チームにランクインする大記録（暫定9位（8月末現在））です。

選手たちは仲間との交流を楽しみながら汗を流しました。



大きなカボチャが勢ぞろい

ジャンボカボチャコンテスト

JAなかさき西海松浦青年部主催による「第2回ジャンボカボチャコンテスト」が9月3日、松浦海のふるさと館漁村体験施設で開催されました。

同コンテストには、市内外から保育園・幼稚園の部には13園が苗を育てて8園が出品、一般の部には26人が栽培し14人が出品しました。重さが発表されるたびに歓声や拍手があがり、プレゼントがもらえる〇×(マルバツ)クイズも実施され、会場はおおいにぎわいました。

結果は次の通りです。

◆保育園・幼稚園の部

【優勝】

やよい保育園 85.9kg

【準優勝】

養源保育所 45.7kg

◆一般の部

【優勝】

佐賀県立伊万里農林高等学校
66.0kg

【準優勝】

柿山 浩樹さん(志佐・西山)
60.6kg



志佐川の美しい景観を守る

ボランティアグループ川西会

ボランティアグループ川西会（深見一憲^{かずのり}代表世話人）が9月8日、志佐川の除草作業を行いました。

同グループは、長年、除草作業や草花の植え付け管理など、志佐川の景観を守る取り組みを行われています。今回は、会員22人が参加し、除草作業に加えて、土手の落ち葉や枯れ枝などの堆積物の撤去作業を行いました。これにより、草花の種まきの効果が高まり、コスモスや彼岸花、菜の花といった季節ごとの表情をより楽しめる場所になります。

深見さんは「志佐川の豊かな自然に親しみ、四季折々の花を楽しみながら歩いてもらえれば嬉しい」と述べられました。



子どもたちの未来を創る

全国私立保育園連盟保育功労賞表彰

社会福祉法人梶の葉会今福保育園理事長・園長梶島洋子^{かほしま}さんが、公益社団法人全国私立保育園連盟の保育功労賞を受賞されました。

この賞は、保育事情の進展に資するため、保育事業に永年従事し、著しい功績のあった個人に対し贈られるもので、梶島園長は、幼稚園教諭や保育士を経て今福保育園園長まで30年間職務を歴任され、長きにわたり地域の子どもの成長を支え、地域貢献活動に参加されています。

今回の受賞を受けて、「職員や保護者、地域の皆さまのお力添えの賜と思い、皆さまの代表として受け取りました。『子どもが主役の保育園』となるように今後も質の向上に努めていきます。子どもたちには、学ぶときと遊ぶときの切り替えができ、元気な挨拶がきちんとできる子に育てて欲しいです」と感謝の気持ちを述べられました。



いざというときに命をつなぐ

救急の日イベント

救急の日である9月9日、市民に救急医療や救急業務の正しい理解と認識を深めてもらうためのイベントが消防署で開催され、約70人が参加しました。

突然の事故や病気のと看、救急車が到着するまでの間、現場に居合わせた人の行動で命が助かる場合があります。

AED講習や119番の通報訓練、救急活動のデモンストラーション、消防署の施設見学、消防車・救急車両展示のほか、子ども用の防火服試着など、実際に参加し体験できる企画が盛りだくさんで、大人も子どもも救急医療や消防について楽しく学んだ一日になりました。



地域と学校の連携・協働に尽力

長崎県社会教育委員連絡協議会表彰

松浦市社会教育委員の近藤敦臣^{あつおみ}さん（今福・人柱）が、長崎県社会教育委員連絡協議会表彰を受賞されました。

社会教育委員は、地域において社会教育に優れた知見を有する人々の知識を社会教育行政に反映させていくことを目的としており、社会教育に関する計画立案や調査研究、社会教育に関して教育委員会に助言などを行います。

近藤さんは、平成18年から現在まで11年余り本市社会教育委員として、生涯学習振興のため、社会教育の推進に尽力されています。平成24年度からは委員長を務められ、同年度の「松浦市社会教育振興計画」の策定においては、中心的な役割を担われました。

この度の受賞は、長年にわたり社会教育委員として地域活動にご尽力された功績が認められたものです。

